



平成 22 年 1 月号 NO.10

未就学の部

年が明け 新しい年を迎え早 3 週間 挨拶が遅くなりましたが「あけまして おめでとうございます」。

新年がスタートし 冬休みが終わり・・・三連休が終わり・・・ようやく生活リズムが戻ってきました。少々お疲れモードだった子ども達の表情も落ち着いてきたように思います。今年の始まりは大雪からのスタートでした。大変な年明けではありましたが過ぎてみれば大変ながらも楽しかった出来事に・・・

どんな出来事も振り返ってみれば良かった出来事になると信じて、今年も私たち職員一同、子ども達として保護者の皆さんと一緒に歩いていきたいと考えています。今年も宜しくお願いします。



今月のすがた

17日に親子クリスマス会を行いました。子ども達は来てくれるお母さんをびっくりさせようと、12月に入ってすぐにマラカスを作り、クリスマスソングを歌いながら、リズムに合わせて振る練習を頑張ってきました。本番では、元気に ジングルベル おもちゃのチャチャチャ と歌えました。

朝の会と療育をお母さん方に参観していただいた後は、親子で写真飾り作り！親子で協力して、子ども達の好きなものがいっぱい詰まった素敵な作品に仕上がりました。



その後、お待ちかねのピザ作りです。生地から作るなんて初めて！？材料を混ぜて暖かいところに置いておくと、あら不思議、プウっとふくらんできます。においや触り心地、焼く前と後の変化等、子どもたちにはびっくりすることばかりです。五感をフルに使って頑張って作ったピザの味は格別！あという間に食べた子も多かったですね。普段は療育の参観や親子参加の機会はないのですが、他のお子さんとの比較ではなく、お子さんの今を見ていただくチャンスであり、また他のお母さんとの交流ができ良かったという声もありましたので、今後も計画していきたいと思えます。



そのほかにも盛りだくさんだった 12 月。寅年の年賀状作りにもトライしました。大きさの違う黄色の 型スタンプをペタン、ペタン。寅の顔はどんな顔？絵本で調べてお顔をかいて出来上がり！受け取った人は喜んでくれたかな？サンタさんやプレゼントのことを話しながらクリスマスブーツやツリー、リースも作りました。冬季日課では小学部と合同のうどん作りにも参加しました。大きいお兄さんお姉さんの中でも、



もう泣きません。順番をしっかりと守って調理に参加し、おいしいうどんが食べられました。

親子で参加していただくと、「うちの子こんなに頑張ってるんだ」「ここはもう少し頑張りが必要なな」とその子のすがたが少しわかっていただけたと思います。

つぼみの療育、調理や制作等の活動、同年代の子との関わり、ルールを守ることなど、様々な経験を積むことで、どのお子さんも少しずつ成長しています。

つぼみでの経験が学校生活や社会につながります。また家庭でどれだけいろいろな体験ができていくかも重要なことだと思います。

今年も一人一人の目標に向かって歩いていけるよう一緒に頑張りたいと思います。よろしくをお願いします。



移動支援

こんにちは！移動支援では、乗馬・自転車・プールを中心に子どもたちの身体と精神面でのバランスを図るように日々取り組んでいます。そこでよく感じることは、子どもたち自身が自分の身体の動かし方がとても不器用なこと。プールで思うように身体の力が抜けない、左右のバランスを保つ時にどう力を入れて抜くのが難しい・・・それでも取り組もうとする気持ち、何度も挑戦する気持ちを個別でスタッフがつくことで育めるように子どもの側と一緒に取り組んでいます。そのため一歩進む事がとっても嬉しい！のです。

今回は身体の不器用さについてのお話。一度お家で朝起きる時の子ども達をよ～く見てください。そして私たちがいつも起きる時の動きと何が違うか、子どもたちが起きる方法で起き上がってみてください。身体をころんと回す時にどの部位をどう使うのかが分からないために起きること一つでも必要以上の力を使っていることもよくあるそうです。朝起きるだけで力を使いすぎて疲れてしまう・・・なんて大変ですよ。そしてどうしたら、最小限の力で身体を動かして起きられるのか？そのためにどんな体操が必要か？を考え、移動支援で取り組みたいと思っています。

スタッフ紹介



移動支援
平野千晴先生

一般社団法人光陽福祉会 局長就任おめでとうございます

～事務局長就任あいさつ～

浅野尚美は1月1日付け辞令交付により、一般社団法人光陽福祉会の事務局長に就任することになりました。会長と統括そして私の三人で始まったサポートセンターつぼみ。法人を独立させ、4月には20人規模の職員体制になります。どんなに、法人が大きくなろうとも、子ども一人ひとりあつての光陽福祉会です。子どもたちの将来をしっかりと背負い、会長と統括と三人一却で歩いていきたいと考えています。今後ともご支援宜しく願い申し上げます。

Kのひとこと

母子通園の女神、井原先生は見るからに穏やかで、優しそう。でも本性は・・・優しいんだけど・・・??がつく(笑)事務所での会話。浅野局長「関西はやっぱり暖かいの？」k「そりゃ暖かいよ。こたつもいらなくらいだよ。ねっ井原先生」井原先生「うーん？私大分なんで・・・暖かいですよ」浅野局長「やっぱり大阪は肉まんおいしいの？」k「大阪と言えば55何とかやろー。ねっ井原先生」井原「いや、ちょっとわからないです」そう。井原先生は、無意識にkを否定するんです。そしてとんちんかんでおっちょこちょい。テンポの早いKに対し、かなりの天然との戦いは、理解不明。勝敗も不明。でも、子どもたちを真直ぐ肯定する井原先生はやっぱりつぼみの女神なのかもしれない。